

予備自衛官講話

中尾英夫四街道支部長は、1月24日(火)、下志津駐屯地において招集訓練参加中の予備自衛官65名に対して「隊友会活動と憲法」と題して講話。氏は、まず、支部総会、隊友新聞手配り活動、支部ニュース発行、下志津駐屯地つじ祭り作業支援及び殉職隊員千葉県追悼式の事前準備と式典参加など四街道支部の活動を紹介した後、憲法改正について、「政治は、部隊の訓練や予算を決める。」このため国会議員を選挙選挙は、大切である。憲法9条の狙いは日本の弱体化であり、朝鮮戦争による戦力の空白の穴埋めとして、軍隊ではない自衛隊ができた。今、一國平和主義から転換し、国際貢献の時代に来ている。国民の自衛隊への支持は拡大したが、未だ憲法では自衛隊の役割が決まっていない。皆さんは、自分の国の安全について勉強し、人に自信を持って意見や話ができる自衛隊OBにならなければならない。

また、同様に、柚木文夫習志野支部長は、2月15日(水)、習志野駐屯地において予備自衛官26名に対して「中国の海洋進出」と題して講話。県隊友会の紹介と入会案内をした後、中華人民共和国の生い立ちから、現在の中国の覇権拡大の現状を説明。その中で、アジアにおいて米軍の撤退後にできた「力の空白地帯」への中国の強引な海洋進出と、南沙海が支配されることにより、日本の海上輸送に大きな危険があることを話した。

【予備自衛官講話担当理事役 高谷哲郎】



第1空挺団降下訓練始め

1月8日(日)、11時から、習志野演習場において第1空挺団訓練降下始め行事が行われた。県隊友会から会長以下、小淵副会長、柚木習志野支部長、櫻井千葉稲毛支部長、若梅山武東支部長、河西・金子各理事役他多くの会員が参加した。

近年の訓練の中でも最も寒い日だったと知られるが、最後まで雨は降らず訓練を終了することができた。今年は、空自航空救難団の隊員5名と米陸軍から9名の軍人が初めて観客の前で落下傘降下を行うという新しい話題があった。引続いて行われた模擬戦は、これまで数年実施されてきた島嶼防衛を目的とした大規模な模擬戦とは様相を変え、青と赤にわかれた中隊対抗の陣地奪回作戦であった。

若宮防衛副大臣、千葉県選出の小林鷹之防衛政務官、黒江事務次官、岡部陸幕長(元空挺団長)などの防衛省幹部に加え、野田佳彦前総理、豊田俊郎・佐藤正久・宇都隆史各参議院議員等来賓多数が参加した。



各地で支部総会

◆四街道支部総会
1月9日(月)、四街道市文化センターにて正会員49名が参加。支部長挨拶、来賓・特別会員の紹介、挨拶を頂いた後、29事業計画等を承認した。引き続き、元東ティモール大使 北原 巖男氏(元防衛施設庁長官、現日本東ティモール協会会長)を講師に迎え、73名が出席して、「東ティモールへの平和貢献」と題した講話を聞いた。懇親会には、68名が参加した。

◆成田支部総会
2月25日(土)、成田市内「ひかたや」にて小泉一成成田市長、小池正昭・五十嵐

博文各千葉県議、鈴木英吉富里市議、川奈大日精化支部長を来賓に迎え、正会員21名が参加。総会で28事業成果、会計報告、29活動計画等を承認した。役員選出で朝日堂支部長から石橋隆夫支部長に交代した。引き続き、日舞、カラオケを交え賑やかに懇親会を行った。

事務局からの連絡事項
◆県隊友会防衛講演会
◎時期・場所 4月19日(水) 15時30分～16時45分(県総会に接続して開催) 三井ガーデンホテル千葉 3階「平安の間」
◎講師 海自教育航空集団司令官 渡邊剛次郎海将
◆鹿児島県隊友会が製造した特産品販売
左記の商品の購入をお願いします。売上の一部が県隊友会に寄付されます。

◎さつま本格芋焼酎「隊友」
◎申込み FAX 0996-44-5718 フリーダイヤル 0120-58-7085 県隊友会員であることを明記。
◆新・医療互助制度(団体総合生活保険)
平成29年度の新・医療互助制度への加入者募集にあたり、従来の「病氣・ケガによる入院・手術に備える保険」に、「ゴルフ保険」及び「自転車保険」が追加。本制度は加入者数千名を維持することにより、28%の割引が適用されるお得な保険。細部は、隊友会ホームページ又は(株)タイユウ・サービス03-3266-0679に電話

千葉県隊友会通常総会のお知らせ

千葉県隊友会 正会員各位
平成29年度千葉県隊友会通常総会は、次により開催することになったのでお知らせします。

- 1 日時 4月19日(水) 13時～14時30分
- 2 場所 三井ガーデンホテル千葉(千葉市中央区中央1-11-1)
- 3 参加者 支部長等及び各支部長の指名する代理人(総会に参加しない会員は、支部長等及び代理人に議決権を委任したことになります。)
- 4 議案 第1号議案～第5号議案(概要は以下のとおり。)

◆【第1号議案】平成28年度事業報告(案)
◆県主催で宇都隆史参議院議員を招いて防衛講演会を開催するとともに館山、木更津、山武東金及び四街道の各支部が防衛講演会を実施した。
◆県通常総会、防衛講演会及び各支部等総会時において国会議員及び自治体の首長、議員、有識者等と意見交換を行った。

◆県本部内に引き続き防災活動について検討するプロジェクトチーム(防災ボランティアPT)を設置し、災害情報協力員制度及び防災ボランティア組織の整備・強化の促進、防災資材の整備等について検討し、防災ボランティア体制の発展・充実を図った。

◆災害情報ネットワーク・災害情報協力員制度を維持し、自衛隊に協力した。
◆平成28年5月発災の熊本地震に際し、県内会員から義援金を募り、986名の会員から総額

277万6千円の協力を頂き、在葉の災害派遣部隊に対する激励品代及び募金所要経費並びに防災服等購入費を除いた203万9千616円を県募金として隊友会本部に送金した。

◆災害ボランティア派遣に備え、防災7点セット(防災服上下、ヘルメット、リュック、作業用手袋、編上作業靴、ヘルメット)×10個を新たに備蓄した。併せて災害ボランティア参加見込みのない会員から防災服等を返納して貰い、同様に県備蓄とした。
◆熊本地震災害派遣に際し、本県から派遣された部隊に対し激励品を贈呈した。

◆県内各駐屯地・基地における開設記念式典・懇親会及び夏祭り等に会長、副会長、近傍支部長・会員が参加した。
◆県自衛隊家族会主催(千葉地本実施)の平成28年度千葉県自衛隊入隊予定者激励会を共催した。

◆四街道、習志野及び市川各支部長の協力を得て、招集訓練に参加した予備自衛官に対し講話を実施した。
◆下志津駐屯地における自衛隊殉職隊員千葉県追悼式に会長、各支部長及び県理事役総勢26名が参列した他、下総航空基地及び館山航空基地追悼式に会長、近傍支部長・会員及び県理事役が参列した。

◆副会長(海)、県理事役以下、四街道・千葉若葉・木更津・八街・船橋・市原・佐倉・千葉美浜・千葉稲毛・茂原の各支部から総勢30名が参加、下志津駐屯地追悼式「鎮の庭」の樹木

剪定・清掃を行い、平成28年度自衛隊殉職隊員千葉県追悼式の実施に貢献した。

◆千葉県護国神社の春季及び秋季大祭前に会員有志延べ73名が参加、神社境内の清掃を行うとともに春・秋大祭当日、同じく延べ30名が交通規制・奉仕を行った。
◆各支部は、地域で実施された防災訓練への参加及び支援を行った。特に習志野支部は、習志野市秋津地区防犯会のCPX方式による防災訓練を支援・統括した。

◆各支部は、地域所在慰霊碑周辺の草刈奉仕及び慰霊祭に参列した。
◆各支部は、市教育委員会主催市民講座等の講師、地域の防犯指導、学童交通指導、清掃奉仕活動に協力した他、沼南支部は、手賀沼トライアスロン大会等を支援した。

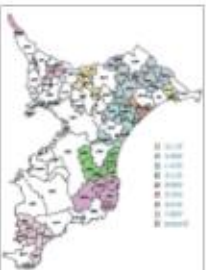
◆会勢拡大のため、下志津・松戸各駐屯地司令の協力を得て、それぞれの各駐屯地最上級曹長等に対し、隊友会の概要説明を行うとともに会長・支部長・理事役と現役隊員の懇談・懇親会を開き、隊友会に対する理解を深めて貰った。

◆部隊長の交代に際し、会長・関係理事役・支部長は、速やかに表敬訪問し、相談役を委嘱することにも退職隊員の隊友会入会促進など、隊友会に対する協力依頼を行った。
◆自衛隊千葉地方協力本部創立60周年記念行事

隊友千葉だより

平成29年3月号(No. 48) 千葉県隊友会事務局

【事務所 開所時間】
月・火・水・金曜日
1000～1500 山田理事役



〒260-0042 千葉県千葉市中央区椿森1丁目26-9コンラッドビル4階 電話 043-306-2095 FAX 043-306-2096
電子メール chibatayuu@angel.ocn.ne.jp ホームページ http://www.chibatayuu.com/

に参加した。その際、県隊友会は、地本事業に協力したか
とで表彰された。

◆千葉県自衛隊協力会連合会、県自衛隊家族会など防衛協
力団体の懇親会に会長が参加し、連携を深めた。

◆正会員及び特別会員に対し、隊友紙及び隊友千葉だより
を配付した。また、特別会員に対し、「ディフェンス」及
び「防衛開眼」を配付した。

◆県隊友会ホームページを月1回を基準に更新、在葉部隊
及び県隊友会の活動並びに会員の消息等を紹介した。

【第2号議案】平成28年度決算(案) (平成29年2月末現
在)

◆収入11千260万8千947円(当年度収入②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿)
780万2千884円 ①前年度繰越額480万6千63
円 ②会費収入327万4千円 ③寄付金収入77万8千円
④事業収入55万8千25円 ⑤雑収入41万6千859
円 ⑥義援金収入277万6千円

◆支出704万5千19円 ①事業費145万2千708
円 ②管理費281万6千311円 ③義援金277万6千
円 ④予備費0円

◆次年度繰越額1556万3千928円

【第3号議案】平成29年度事業計画(案)

1 方針

県隊友会は、県民と自衛隊のかけ橋として防衛意識の普
及高揚に努め、国の防衛及び防災施策、自衛隊諸業務など
に対する協力・支援、慰霊顕彰事業並びに地域の健全な発
展に寄与する事業を積極的に推進し、防衛基盤の構築に寄
与する。

このため、公益目的事業及び収益事業の充実定着化を推
進し、会活動の活性化及び会基盤の充実強化を図るととも
に、会員の福祉と親睦のための事業を継続しつつ会の魅力

化に努める。

特に、今年度も引き続き、会勢の拡大、県役員・支部長
の後継者の確保等、内部態勢の充実に努める。

2 主要事業

◆4月19日に県主催防衛講演会を実施するとともに支部総
会等を活用して市民等を対象とした防衛・防災講演会を開
催し、地域住民の防衛への関心の高揚に努める。

◆県本内部に引続き防災P.Tを設置し、災害情報協力員制
度及び防災ボランティア組織の補備・強化の促進等、防災
ボランティア体制の発展・充実に努める。

◆引続き、「災害情報ネットワーク・災害情報協力員制度」
を維持する。支部は、災害情報協力員の確保に努める。

◆県で防災ボランティア組織を整備し、要請に基づいて被
災地に赴き自治体のニーズに応じた支援を行う。

◆自衛隊、地方自治体、町内会等が行う防災訓練及び国民
保護法関連訓練に機会を求めて参加・研修する。

◆3月の入隊者予定者激励会を共催・支援する。

◆千葉県に所在する陸・海・空各自衛隊・要員が国際貢献
活動及び大規模災害派遣に従事する場合は、激励・慰問等
の支援を実施する。

◆自衛隊の関係部外団体と連携した家族支援施策に可能な
範囲で協力する。

◆予備自招集訓練実施時期には、理事役又は支部長等によ
る防衛講話の実施に努める。

◆公務及び病気死亡の賛助会員に対し、香典を贈呈すると
ともに殉職自衛隊員千葉県追悼式及び各駐屯地・基地で行
われる殉職自衛隊員追悼式に参列する。

◆下志津駐屯地殉職自衛隊員慰霊施設「鎮の庭」の剪定・
清掃支援を実施する。

◆千葉県護国神社で行われる春秋の大祭のご奉仕を積極的

に実施する。

◆各支部は、地区内(又は近傍)において行なわれる戦没
者の慰霊顕彰行事等へ参加・協力する。この際、玉串料及
びお茶代の一部を助成する。

◆一般社団法人日本戦没者遺骨収集推進協会が実施する硫
黄島遺骨帰還事業及び海外遺骨帰還事業に積極的に参加す
る。

◆各支部は、県内各地区で開催される各種の体育大会等に
協力するとともに、清掃奉仕活動等の地域活動に積極的に
参加・協力する。

◆英霊にこたえる会、北方領土返還要求運動及び憲法改正
運動等に参加する。

◆引続き、県本内部に会勢拡大P.T設置するとともに、入
会促進会員をもって退職予定者に対し、入会勧誘を行う。

◆県内各駐屯地・基地で県役員、関係支部長等により、駐
屯地等最先任上級曹長・伍長に隊友会の意義・現況等を説
明するとともに懇談会を行い隊友会に対する理解を深めて貰
い、会勢拡大に資する。

◆海自第3術科学校実施の業務管理教育での隊友会紹介を
県で担任するとともに、引続き、千葉地本が実施する退職予
定隊員集合訓練時の隊友会紹介を担任する。

◆正会員に対して隊友新聞を配付するとともに、特別会員
には、隊友新聞及びディフェンス等を配付する。この際、
正会員には手配りの推進に努める。

◆隊友千葉だよりは、年4回を基準に発行し、努めて多く
の会員に配付して会員相互の意思疎通を図る。

◆会員(特別会員を含む)は、陸・海・空部隊を研修し、
各自衛隊の現状について理解を深める。

◆入会後10年を経過しかつ75歳未満の終身会員には、会運
営協力費として年間3千円の寄付をお願いする。

平成29年1月・2月入会者

祝入会【敬称略・順不同】

入会深謝・隊友会の発展にご協力を

- 【沼南】 日下 学(海)
秋廣 豊(海)
- 【四街道】 相良 哲也(陸)
- 【千葉中央】 國古 数正(陸)
- 【山武東金】 吉原 徹(陸)
- 【八街】 上田 真巳(陸)
- 【船橋】 山本 祐一(空)
茂木 登己雄(陸)
- 【印西】 重岡 康弘(海)
- 【柏】 小川 修(空)
中林 義男(陸)
- 【館山】 前田 英昭(海)
本澤 功(海)

県隊友会 相談役交代

昨年12月20日付で第1ヘリコプター団長兼
木更津駐屯地司令 田尻祐介陸将補は、陸
自航空学校長兼野駐屯地司令に栄転、海
自第21航空群司令 鎌形義憲海将補は、定
年退職された。後任に、それぞれ陸自航空
学校副校長から服部 正陸将補及び海幕指
揮通信情報部長から益田徹也海将補が着任
された。

会長、関係理事役及び近傍支部長は、1
月初旬、それぞれ新任部隊長を表敬訪問
し、相談役を委嘱した。



第21航空群司令 益田徹也 海将補 (中央)



第1ヘリコプター団長 服部 正 陸将補

各地で賀詞交歓会

◆木更津駐屯地

1月10日(火)、12時から、木更津駐屯地体
育館において開催。駐屯地OB会長挨拶に引き
続き、服部正駐屯地司令が挨拶し、来賓代表と
して浜田靖一衆議院議員が祝辞を述べられた。
その後鏡割りが行われ、木更津自衛隊協力会長の
渡辺木更津市長、富津市長、袖ヶ浦市長、ホ
リユーム会会長などがこれに参加された。県か
ら会長、支部長、理事役、会員多数が参加。

◆下志津駐屯地

1月12日(木)、15時半から、下志津駐屯地
隊員食堂において開催。四街道市自衛隊協力会
会長佐渡齊四街道市長に続いて、藤田浩和駐屯
地司令が挨拶。来賓として門山宏哲・秋本真利・
田嶋要・奥野聡一郎各衆議院議員、白井日出男
元防衛庁長官が祝辞を述べられた。祝辞の中で、
民進党を含む複数の議員から「憲法を改正して
自衛隊をきちんと国防軍に位置づけるべき」と
のコメントがあり、憲法施行70周年を迎えるに
ふさわしい交歓会となった。その後太田稷之郎
自衛隊援護協力会会長の乾杯があり、賑やかな
うちに終了した。県隊友会から河野会長の他、
天草・大根各理事役、中尾・朝日・櫻井各支
部長、服部千葉若葉支部会員等多数が参加。



服部司令長挨拶



藤田司令長挨拶